



UNCLAS//FOUO



Honoring a Patriot لشهيـد الوطن تقدير



MG Mubdar Hatim Hazya Al-Duleimi

الدليـمي حاتم مبـدر الركن اللواء

Commanding General 6th Iraqi Army Division

العراقي للجيش الفرقة السادسة قائد

UNCLAS//FOUO

بـا غ د ا د د 日 誌 (3月8日)

○バグダッド連絡班のABCD

キャンプ・ヴィクトリーの上空にはJLENS (Joint Land-attack cruise missile defense Elevated Netted Sensor)という真っ白い飛行船が2つ(バグダッド全体で3つ)ポツカリ浮かんでおり、キャンプ・ビクトリー及びインターナショナル・ゾーンに対する迫撃砲・ミサイル攻撃を防ぐため24時間監視している。

ここキャンプ・ヴィクトリーでは銃声・爆発音等がかなりの頻度で聞こえる。「これは近くに弾着があった!」と思ってヴィクトリーに対する攻撃状況を調べても何も報告が載っていなかったり、先日は日本コンテナ内にいて誰も気づかなかったが翌日の報告では、日本コンテナから300m位のところに迫撃砲攻撃があったことが報告されていたりという具合である。

弾着音らしき音がした際は、日本隊は素早く道路の脇に身を潜め、次の弾が弾着しても大丈夫なように警戒したりするが、米軍人はそのまま「ボーッ」としていて我々の俊敏な行動を冷ややかに見ている。しかしながら我々はこの習慣はいつまでも持ち続けることが重要であると思っている。まさに「ABC(A: 当たり前のことを、B: ボーッとせずに、C: ちゃんとやる。)」である。

我々に言わせれば「米軍人等が変に慣れてしまっている。」ように思う。特に我々が気をつけているのは、「食堂等に行く際は道路の側溝沿いを歩き、どこに身を隠すか確認しながら歩く。」「必要以外は、キャンプ・リパティーのPXには行かない。(著名な丘の麓にあり、よく弾着がある。)」夜は、トイレ以外は外に出ない」等の当たり前のことをちゃんと実施している。そして更にABCに付け加えて、第1次群で番匠群長が言っておられた「D: できるだけ笑顔」を心がけて元気に勤務している。

「班長、Americanは、Baghdadにて、Carelessで、Dangerつてことですか?」()

「じ後、()に対する英語の特訓を実施する。」()